

place
inspire
your living

00 Outline

back ground of Seto

瀬戸市は、名古屋栄まで約30分で行ける場所でありながら、定光寺や岩谷堂といった自然に囲まれた地域である。
この瀬戸の地で、平安時代から先人たちは新しい技術や文化を柔軟に受け入れ、「せともの」という言葉がやきもの代名詞となるまで発展させてきた。

setomono street



明治20年代以降から、道路整備に合わせて、瀬戸川沿に多くの「せともの屋」の店舗が立地するようになる。
今でも、せともの祭りの中心地となるこの道沿いには、多くの瀬戸物屋が残っている。

seen everywhere



瀬戸では、やきものを作るときに使用する窯道具の廃材を使って積み上げた窯垣が600箇所も見られるなど、街に「やきもの」の特徴を沢山取り入れてきた。



problem

近年の陶磁器工業は、長期にわたる生産の減少に直面し、産地の規模縮小を余儀なくされている。それが労働者の失業や流出、産地内所得の減少に結びつき、産地を抱える地域全体の衰退に繋がっている。瀬戸市も例外ではなく、市の人口は減少の一途をたどっている。

concept

「せともの」と、ここだけのライフスタイル

瀬戸市は、戦前の街並みが多く残っているが、その一方で若い世代の住める賃貸住宅のような場所は少ない。そこで、若い世代の人たちにも興味を持ってもらえるよう、瀬戸の魅力を見て知ってもらえる場所として集合住宅を選んだ。
最終目的は、瀬戸の賑わいを取り戻すこと。その実現に向けて、次の4つの「場所」としての機能を持たせた。

functions of this place

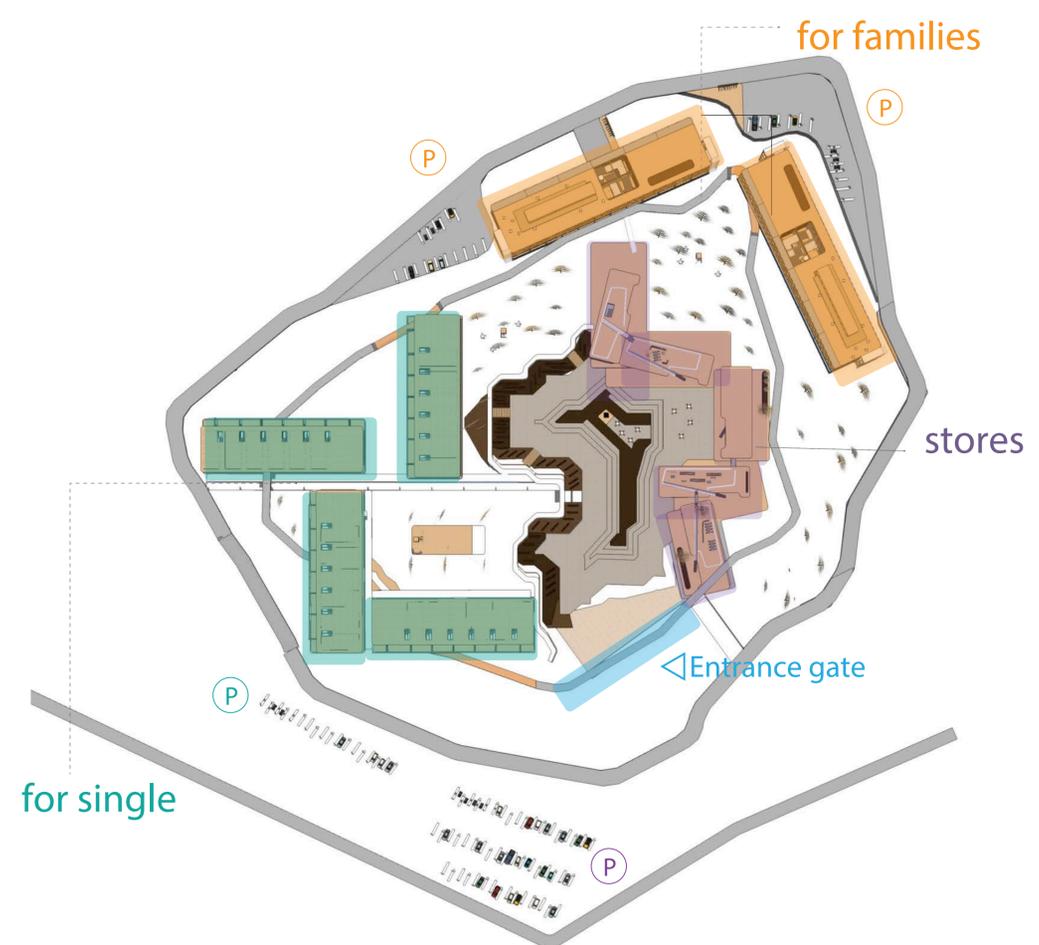
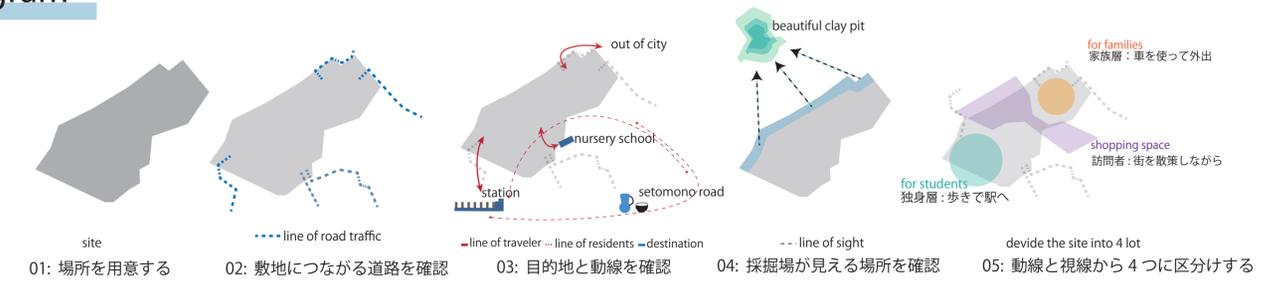
01. 瀬戸の物に触れてもらうきっかけを増やす場所
02. 瀬戸市民が『当事者意識』を認識できる場所
03. 外部と市内の企業をつなぐ場所
04. 自分だけのライフスタイルを体現できる場所

place



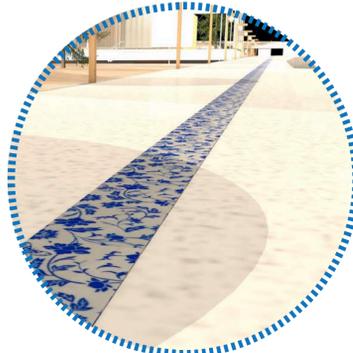
名鉄瀬戸線
尾張瀬戸駅より徒歩16分
この集合住宅を中心に、玄関口である駅と瀬戸物の原点である陶土採掘場、また瀬戸物屋が立ち並ぶ路が広がるように配置した。この建物が瀬戸物にまつわる地域を繋ぐ役割を担い、観光客だけでなく、市民にも魅力を伝える役割を持たせる。

Diagram



01 systems of making relationship with Setomono

せとものに触れてもらうきっかけを増やす



tile



sometsume

タイルをアクセントとして使用する。歩道の中心線や、案内として使用することで、彩を与えつつ、多くの人の目に入れることができる。



dish lamps



cup lamps

夜になると、瀬戸物でできた街灯が集合住宅をライトアップする。瀬戸物といえば、器を連想する人も多いと思うが、それらに普段とは違った役割を持たせることで、より使い道が増えるのではないかと考えた。街灯とすることで、集合住宅の所に散りばめることができる。



beautiful clay pit



roof terrace

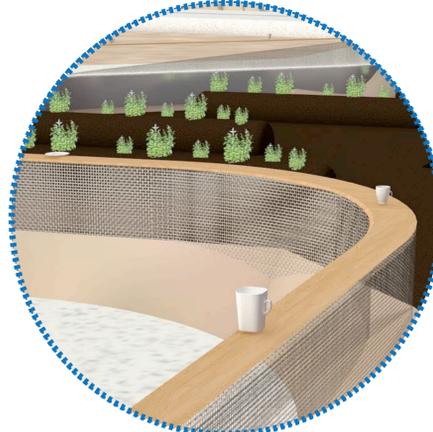
屋上テラスから美しい陶土採掘場を眺めることができる。ゆっくりと瀬戸の時間を楽しんでもらうことをテーマに作成した。晴天の下でも休憩がてらに立ち寄ってもらえるように庇を設け、その下の空間は展示が行えるような空間とした。

和テイストとすることで、瀬戸物を使って茶を嗜んだりする空間にもなる。



cup chair

コップやお椀の中にセメントを流し込んで、大量に集めることで椅子を作成する。このように敷地内に瀬戸物を使ったアートを配置していく。アートと瀬戸物を組み合わせを楽しんでもらう。

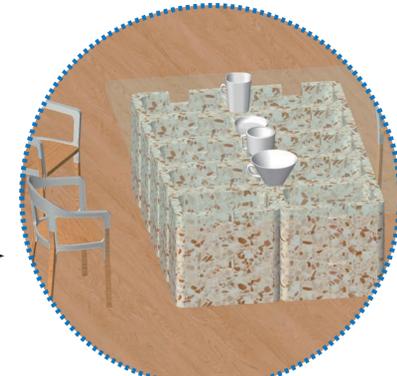


fence

瀬戸物を作る過程で、製品を乾かす際に使用する棚をサン棚、それに製品を並べて置くモ口板という。ここでは、それらをエリアを分ける柵に見立てて使用する。出来上がった、せとものだけでなく、作られる過程で関わる様々な物を取り入れることで、より瀬戸物を知ってもらえるきっかけにつながると考えた。



engoro



engoro table

エングロは、製品を詰めて焼成する際に使用する道具である。これらを並べて天板を置き、テーブルにする。誰もが食事や休憩に使用できる場所に配置する。

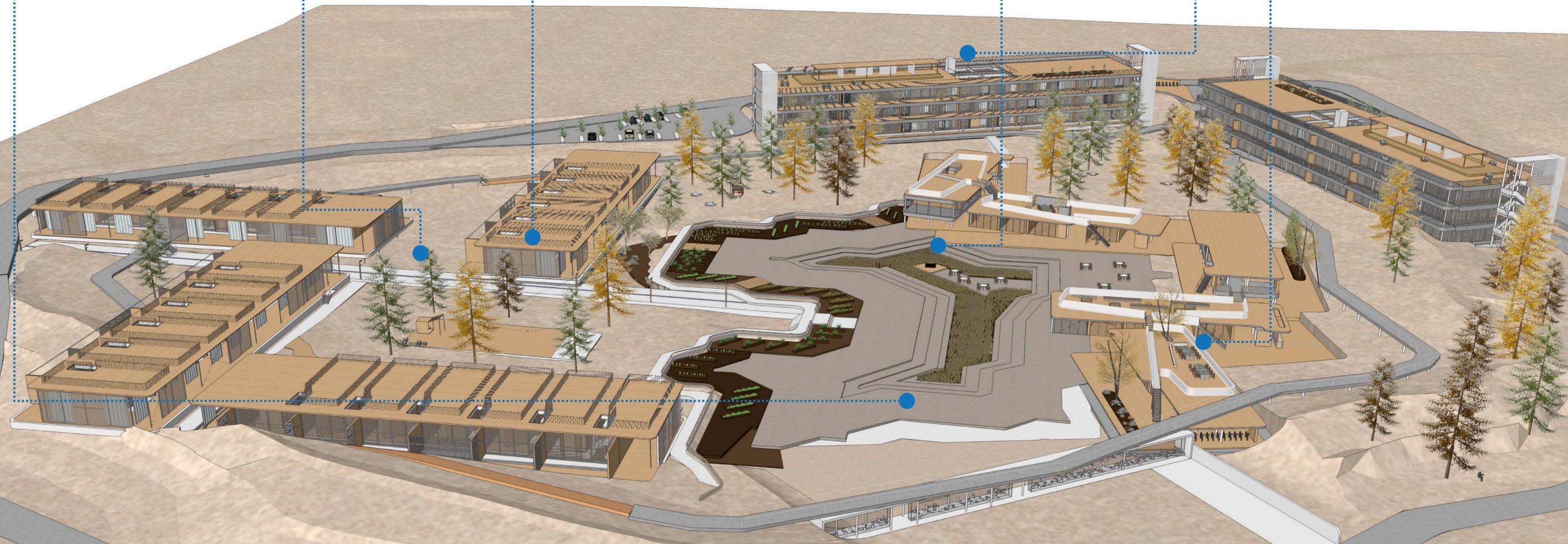


gate for guests

ゲスト用ゲートは、大きく一面に大量のせとものが樹脂の中に浮かんでいる。これらは、染付などをする前の素の状態の物を使い、ゲストや住民によってこの集合住宅が様々に変化することを表現した。



moroiita & sashidana



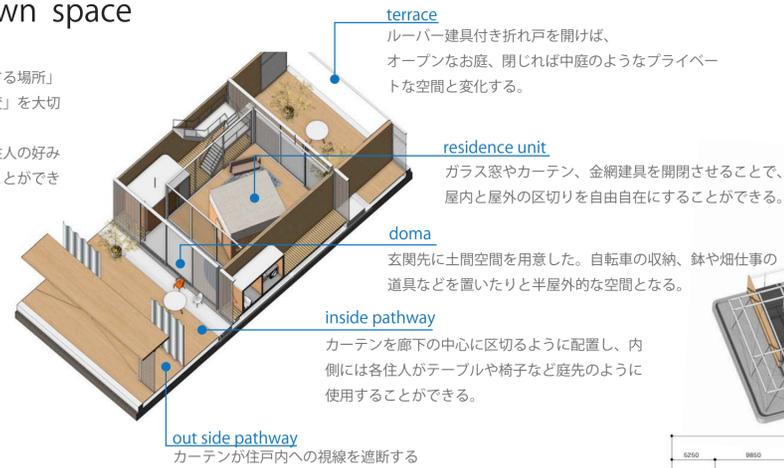
for single



01 make your own space

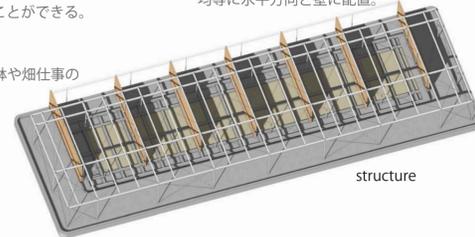
1~2人用の賃貸住宅である。題名である「生活をインスパイアする場所」となるように、居住部分では「可変」を大切に設計した。楽しい生活を彷彿させるように、住人の好みに合わせて、自由に空間を変えることができる。

- <空間構成>
- ・共用廊下
カーテンの内側 / 外側 (通路)
 - ・住戸
コア / コアの外 / お風呂 / 階段
屋外テラス / 屋上



02 structure

構造：鉄骨ラーメン構造
柱：丸型銅管
梁：H鋼
耐震：ターンバックル付きワイヤーブレースを均等に水平方向と壁に配置。



03 core

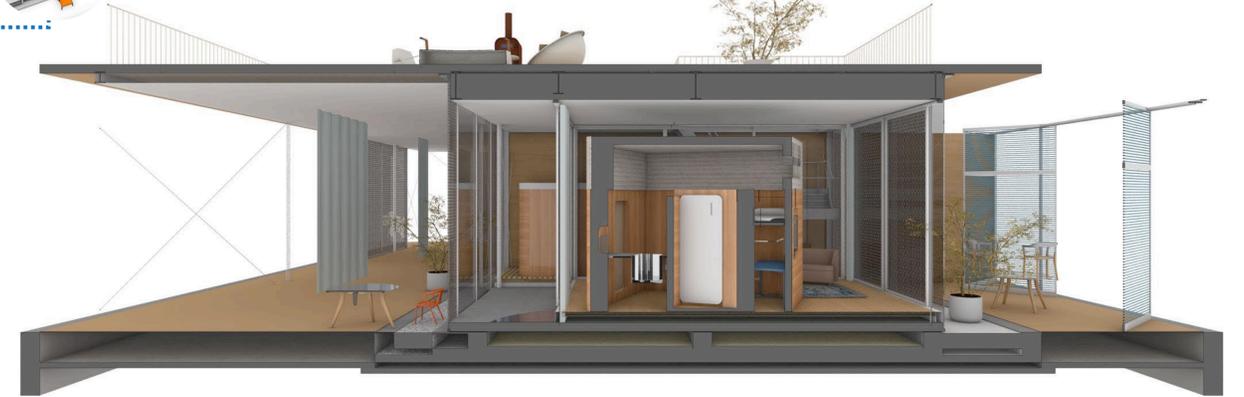
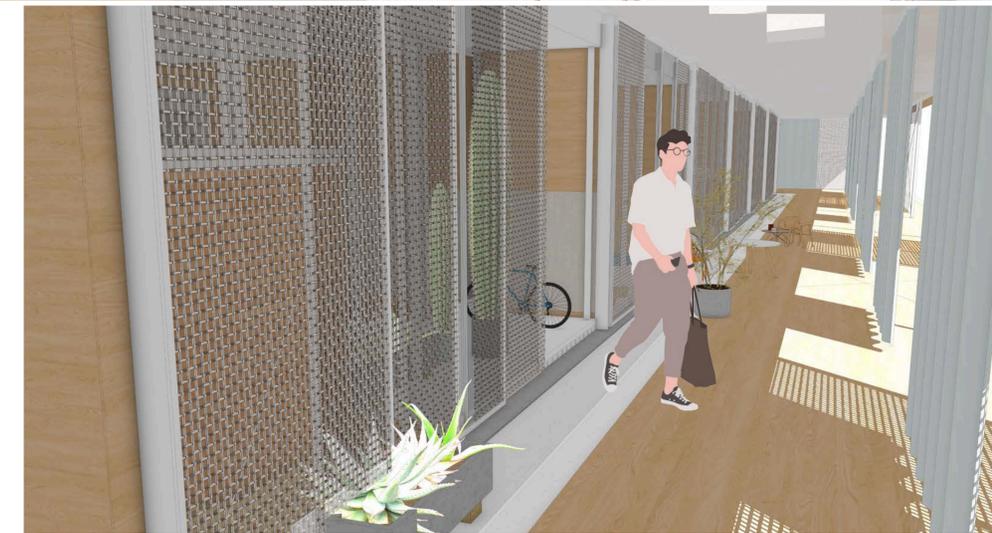
構造：集成材壁構造
構造の中には、生活の中心空間となるコアがある。そこに住む人が何を生活の中心にするのかを決め、それに合わせて様式を選ぶ事ができる。コアは、再生可能な木材の壁構造となっている。表面積が少なく外部のカーテンウォールと2層になることで断熱性も確保することができる。



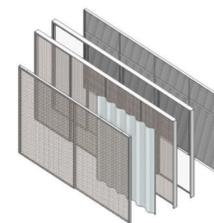
04 how to use Setomono?

住人が手を加えられるように、住戸部分にはあえて余白を残してシンプルなデザインとした。そこに、瀬戸物を建材として使用してもらいたい。

- bath tub**
バスタブに使用
ウッドデッキの上に敷いて防水効果をアップさせる
- door**
ドアにアクセントで使用
- tile**
土間部分にタイルを敷き込む



05 privacy protection



金網とカーテン、ガラス戸、ルーバー付き折れ戸の4段階の建具が設置されており、各々でプライバシーを確保したいタイミングで可動させ目隠しをすることができる。

右は、カーテンと、金網がどのように視線を遮り、プライバシーを守るのかを示す。



02 systems of making residents have responsibility

瀬戸市民が『当事者』意識を認識できる場所

what is the meaning of 「当事者意識」？

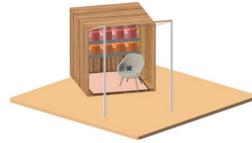
地域の伝統を継承していくには、地域住民の協力が不可欠である。そこで、瀬戸市民自身が他人事ではなく、「瀬戸の陶磁器産業を盛り上げることが出来る当事者」であることを実感してもらうことが大切なのではないかと考え次のシステムを取り入れた。

住民の瀬戸物の利用を促す補助金制度

住宅部分に、住民が手を加えられる余白を残し、そこに瀬戸物を使用してもらうことで愛着に繋がるのではないかと考えた。瀬戸物を積極的に取り入れてもらうよう、次の条件で補助金制度を導入する。これら3つの条件を満たした住民は、そのリフォームに関わる工費の補助を受けられ、この補助金制度を住民が利用した場合に、市には右のメリットがあげられる。

条件

1. 瀬戸物を建材として使用すること
2. それに伴う工事は瀬戸市の工務店を利用すること
3. どのような取り入れ方をしたのかを市に共有すること



共有された瀬戸物を部屋に取り込むレシビは集合住宅内の移動図書館いつでも、誰でも見ることができる。

市にもたらすメリット

1. 瀬戸物の需要ができる
2. 瀬戸市の工務店の仕事に繋がる
→住民や集合住宅全体と、市内の企業との繋がりができる
3. 瀬戸物の新しい使い方や使用例が増える
→PRに繋がられる

03 making connection with corporate

外部と市内の企業との繋がり

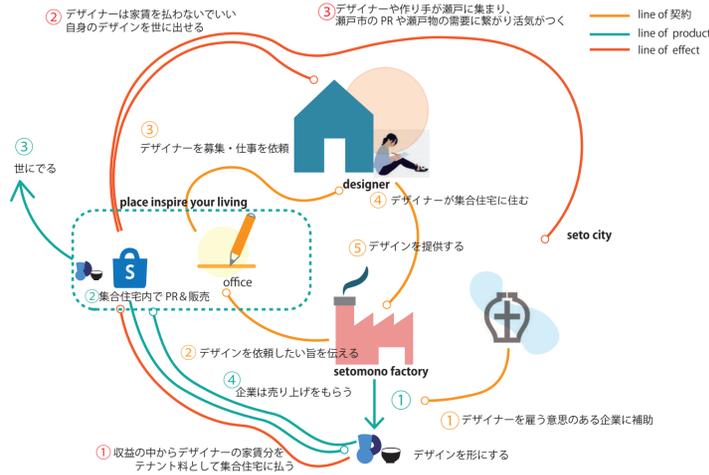
瀬戸に住みたいと感じてもらう条件

「瀬戸に住みたい」と感じてもらうため、
・住む機会
・場所
・仕事
・魅力
を用意する。
これらを揃えたら、住んでみてもいいかもと思ってもらえるかもしれない。

デザイナーと瀬戸物産業と集合住宅

工場で陶器が大量に生産される現代で、人は瀬戸物に何を求めるのか考えた。それは、「どこでも手に入るもの」ではなく、瀬戸で作られた「唯一無二のとおき感」ではないだろうか。そして、瀬戸物産業衰退から脱却するためには、これまで継承されてきた焼き物の技術と現代的な生活にあうデザインの融合が必須だと考えた。そこで、デザイン面について専門で考えるプロダクトデザイナーにフォーカスし、上記の条件を揃えて「住んでもいいかな」と思ってもらう仕組みを考えた。

この制度では、次のように瀬戸市、デザイナー（デザイナー事務所）、窯業の企業が関わりを作る。



契約	商品	効果
01: 瀬戸市がデザイナーを雇う企業を募集し、その企業に補助をする (税金を安くする・補助金を出す etc.)	01: 企業はデザインを商品にする	01: その収益の中からデザイナーの家賃分をテナント料として集合住宅に支払うため、デザイナーは家賃を払わないで良い
02: 企業はデザインを依頼したい旨を集合住宅のオフィスに伝える	02: できた物を集合住宅内で PR/販売する	02: デザイナーはデザインを提供する代わりに家賃を免除されるかつ、自身のデザインを商品として世に出すことができる
03: 集合住宅はここに住みたい意思のあるデザイナーを募集し、仕事を依頼する	03: 集合住宅に訪れた観光客に買ってもらった商品が世に出る	03: デザイナーや作り手を瀬戸に集めることができ、瀬戸物の新しい提案や需要に繋がる
04: デザイナーに、集合住宅に住んでもらい、瀬戸を知ってもらう	04: 企業は売り上げをもらう	
05: デザイナーは瀬戸物の新しいデザインを企業に提案する		

04 inspire life style only for you

自分だけのライフスタイルを体験できる場所

ライフスタイルをインスパイアしてくれる場所。瀬戸物とともに、ここでしかできない生活を実現することができる場所。これらをサポートする仕組みを沢山取り入れて、集合住宅全体が他にはない場所になるように。



BICYCLE RENTAL

集合住宅内は広いので、敷地内を移動しやすいように自転車を設置した。瀬戸市内にも、自転車のポートを設置することで内部と外部との繋がりを持たせて、人の移動を促す。

ECO STORE

敷地内には、エコに積極的に取り組んでいるお店や、パッケージレスショップがあり、敷地内で買い物をすることでエコに貢献することができる。容器には、瀬戸物を使用してもらう。

MOBILE BOOK SHELF

集合住宅の住民が使用し、不要となった本を集めた書架スペース。集合住宅内での、まだ使える本の処分量を減らしたり、寿命を伸ばすことに繋がる。

KITCHEN GARDEN

敷地内は、家庭菜園に取り組むことを促進する仕組みをたくさん用意した。コンポストを設置することで、生ゴミをそのまま肥料にすることができ、できた肥料や野菜はエコストアで販売することも可能。屋上や中心広場にも、住民が気軽に土と触れ合える場所を用意した。

TREE PLANTING

植林スペースを設けることで、将来のコアや建具などの取り替えに備える。老朽化した木材は粉々にして敷地に敷き込むことで雑草が生えるのを防ぎ、土の保湿効果で植林を促す。

CAR SHARING

敷地内に行くつか電気自動車のカーポートが設置されている。シェアすることで、各住人の車所有の負担を軽減することができ、また排気ガスの排出量も減らすことができる。



office & stores & gallery

life inspire your living と外部をつなげる

01 connect seto with outside

この建物は、集合住宅の中心に位置しており、for single, for family, どこからもアクセスしやすいようになっている。地形に沿わせて配置し、屋根のアールの曲線が北側から流れて来るように、高低差をつけている。

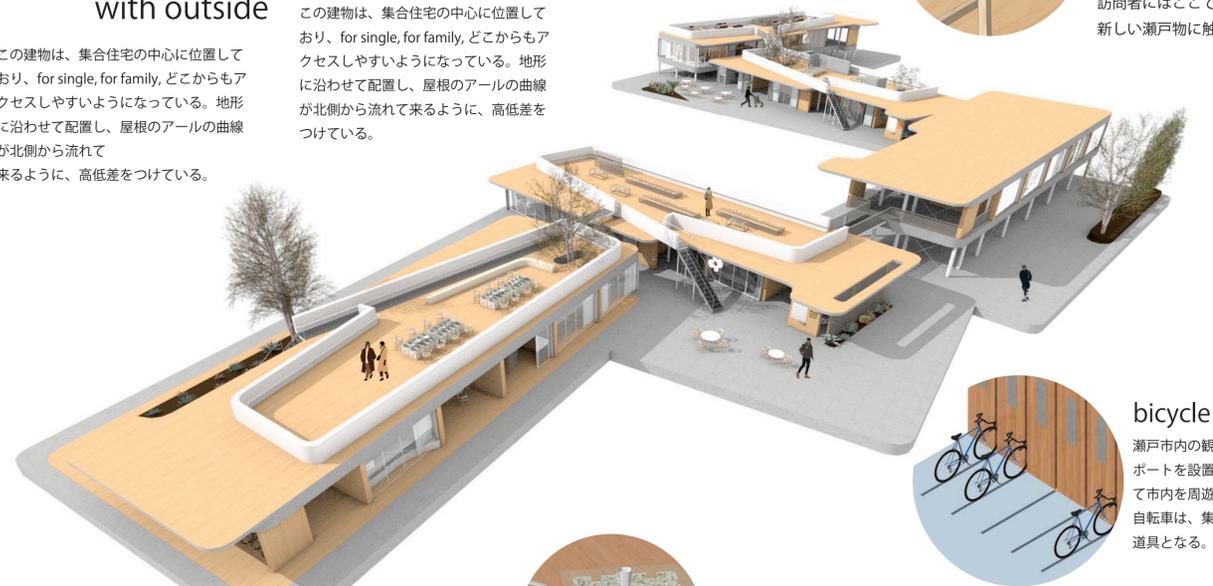
02 Along the Geography

この建物は、集合住宅の中心に位置しており、for single, for family, どこからもアクセスしやすいようになっている。地形に沿わせて配置し、屋根のアールの曲線が北側から流れて来るように、高低差をつけている。



gallery

この集合住宅に住んでいるデザイナーによって、デザインされた瀬戸物をポップアップ展示、販売する空間。訪問者にはここで、普段と一味違う、新しい瀬戸物に触れてもらう。



bicycle rental

瀬戸市内の観光名所にレンタサイクルのポートを設置し、観光客でも気軽に借りて市内を周遊できるようにする。自転車は、集合住宅と観光名所をつなぐ道具となる。



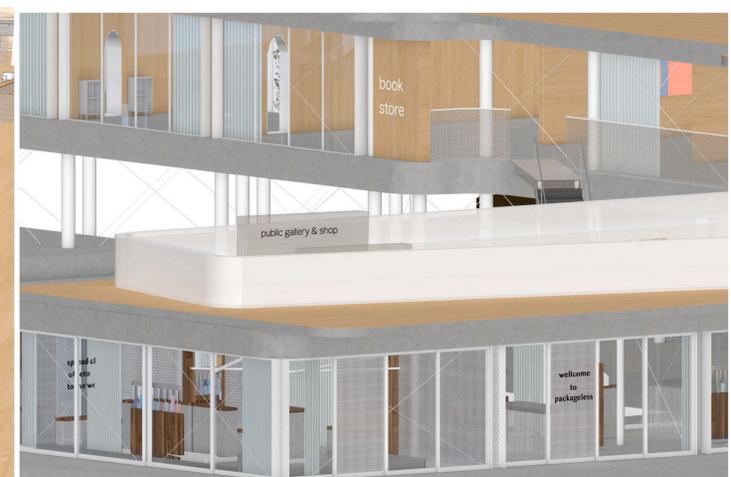
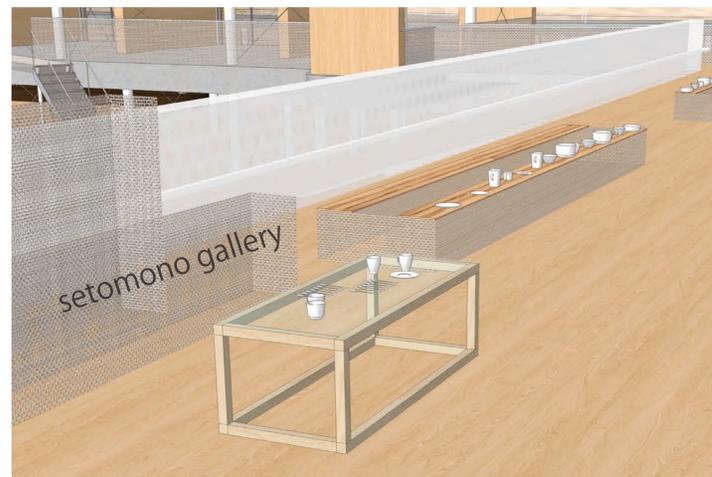
zero waste store

このお店では、計り売りの商品を瀬戸物の容器に入れてもらうことで、プラスチックの消費を減らすことができる。さらに、ギフトなどにすれば、この集合住宅と瀬戸物の PR につながる。



free space with setomono

テナントの上は、誰もが自由に使用できるフリースペースとなっている。食事や休憩をする空間にも瀬戸物を取り入れた。



for family

コアを組み合わせ、家族構成や生活スタイルの変化に対応

01 relationship with families

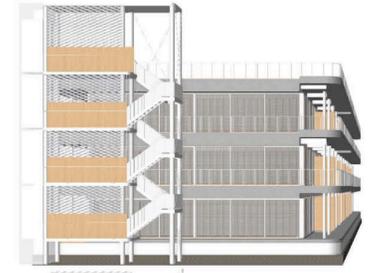
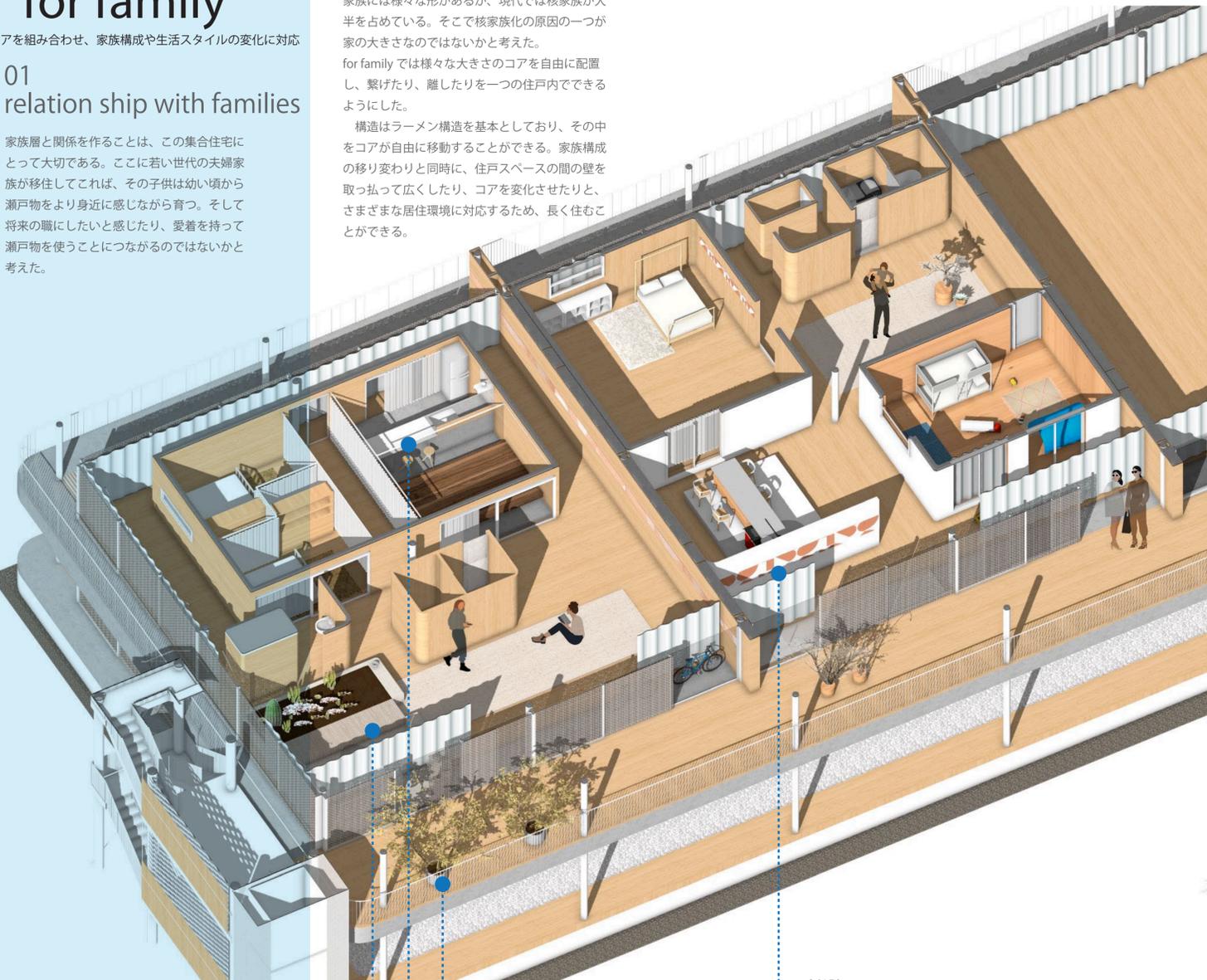
家族層と関係を作ることは、この集合住宅にとって大切である。ここに若い世代の夫婦家族が移住してこれば、その子供は幼い頃から瀬戸物をより身近に感じながら育つ。そして将来の職にしたいと感じたり、愛着を持って瀬戸物を使うことにつながるのではないかと考えた。

02 changeable

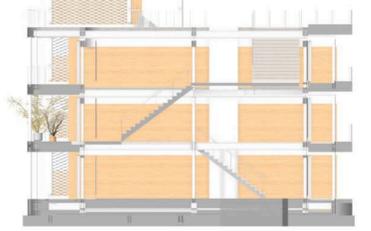
家族には様々な形があるが、現代では核家族が大半を占めている。そこで核家族化の原因の一つが家の大きさなのではないかと考えた。

for family では様々な大きさのコアを自由に配置し、繋げたり、離したりを一つの住戸内でできるようにした。

構造はラーメン構造を基本としており、その中をコアが自由に移動することができる。家族構成の移り変わりと同時に、住戸スペースの間の壁を取っ払って広くしたり、コアを変化させたりと、さまざまな居住環境に対応するため、長く住むことができる。



立面図

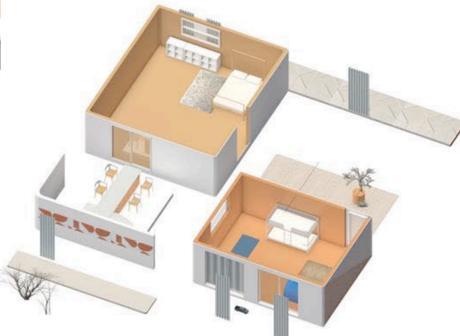


断面図



03 choose & make your favorite space

リビング、寝室、台所、子供部屋、廊下など、どの機能が生活に欲しいのかを選択し、その機能を持つコアを自由にカスタマイズする。
また、集合住宅内で不要となったコアは譲ったり、交換などをして循環させることができる。



04 how to use setomono?



wall accent
壁のアクセントに使用する



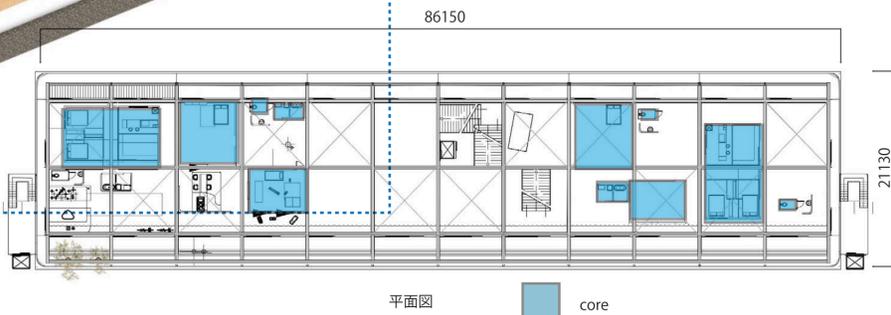
gardening
花壇の柵や通路として使う



table
台所のテーブルの天板にはめ込む



pot
鉢植えとして使う



平面図

core



03 roof deck

屋上デッキからは、瀬戸物に欠かすことのできない陶土が採れる陶土採掘場を眺めることができる。この場所から採掘される土が良質で純白なため、質の高い瀬戸ノベルティを作ることができる。
この場所は、美しい景色を眺められるスポットとして、住民意外も訪れることができる。動線は、shopping space から地下を通ってこの建物の中心の階段へと続いている。住民の生活動線は左右の階段を通すことで、互いの動線が交わらないように工夫した。

